

社会資本総合整備計画                      事後評価書																
計画の名称	生駒市における良好な水環境の形成（防災・安全）															
計画の期間	令和０２年度    ～    令和０６年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	生駒市															
計画の目標	・下水道施設の耐震化を図り、市民生活の安心・安全を確保する。 ・持続可能な下水道サービスを安定的に提供していくため、ストックマネジメント計画を策定し、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新を行う。															
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		367	A	367	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R6末
1	令和5年度末までに山田川浄化センター管理棟の耐震化を100%完了させる。			
	耐震化率	0%	0%	100%
	耐震対策実施済数（棟）／耐震対策を実施すべき数(棟)			
2	ストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を行うことで、年あたりの改築事業費を364百万円縮減させる。			
	ストックマネジメントによる年あたりの改築事業費縮減額（評価期間100年）	0百万円	0百万円	364百万円
	（評価期間100年間の標準耐用年数による更新総事業費（百万円）－ストックマネジメント計画に基づく改築総事業費（百万円））／100（年）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	生駒市	直接	生駒市	終末処 理場	改築	山田川浄化センター	処理場の耐震化	生駒市						221		-
	A07-002	下水道	一般	生駒市	直接	生駒市	-	改築	大和川第一処理区ストッ クマネジメント計画策定	計画策定 調査・点検	生駒市						146		未策定
											小計						367		
											合計						367		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市下水道課及び竜田川浄化センター	令和7年3月
	公表の方法
	ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	山田川浄化センター管理棟を耐震診断することにより、状況を把握し、対策する方向づけができた。 ストックマネジメント計画を策定することにより、すべての機器等の状況を把握し、対策する方向づけができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後、ストックマネジメント計画に基づいて下水道施設の改築や更新を実施していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	%		
	最 終 目標値	100%	ストックマネジメント計画により、管理棟内の機器の更新工事を考慮しながら耐震化工事を進めていくこととしたため
	最 終 実績値	17%	
2	円		
	最 終 目標値	364百万円	ストックマネジメント計画の策定期間を1年間延長し、最終年度に完了したため
	最 終 実績値	0百万円	